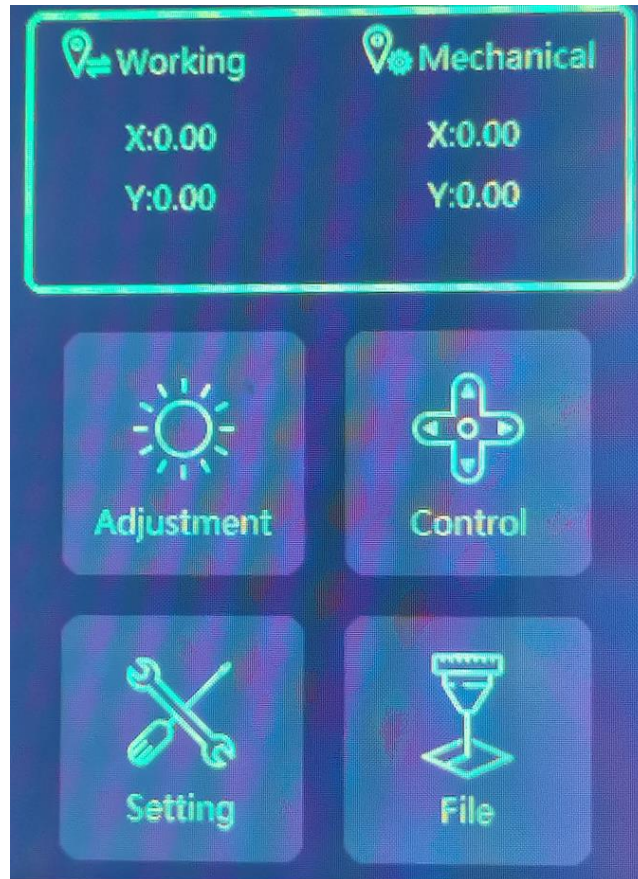


タッチスクリーンモニター説明書

1.メインインターフェースの紹介

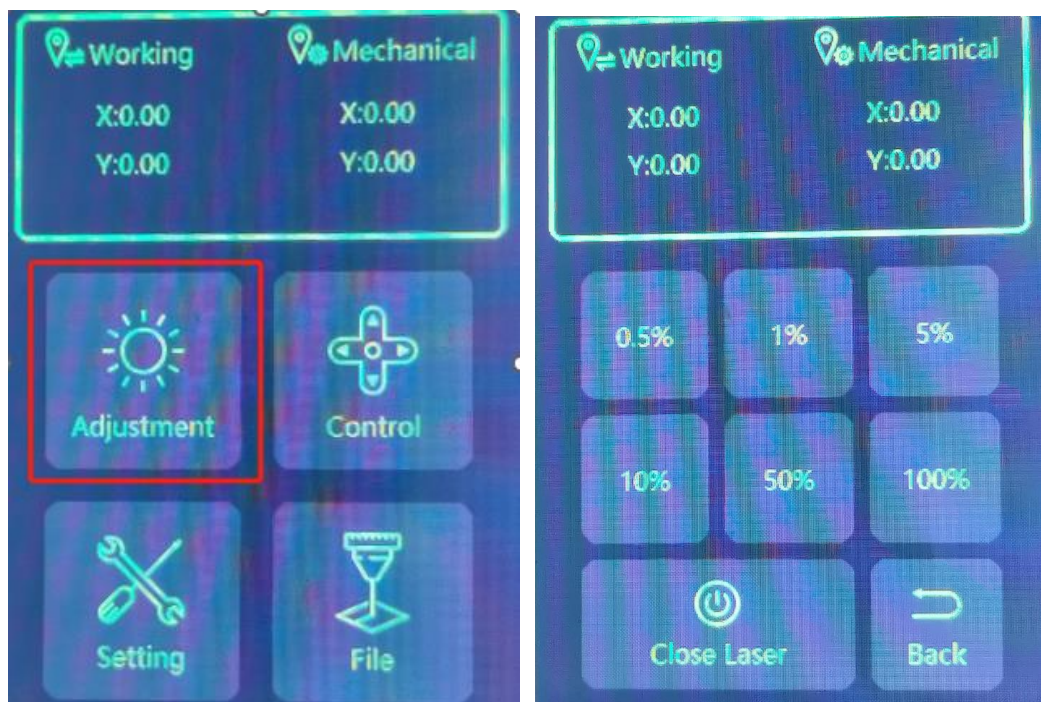


画面に接続すると上記の画面が表示されますが、このときデバイスがどこにあっても、上部より上の作業原点座標(Working)と機械原点座標(Mechanical)はデフォルトで 0 になっていますので、電源を入れてから画面をタップしてデバイスをリセットしてください。

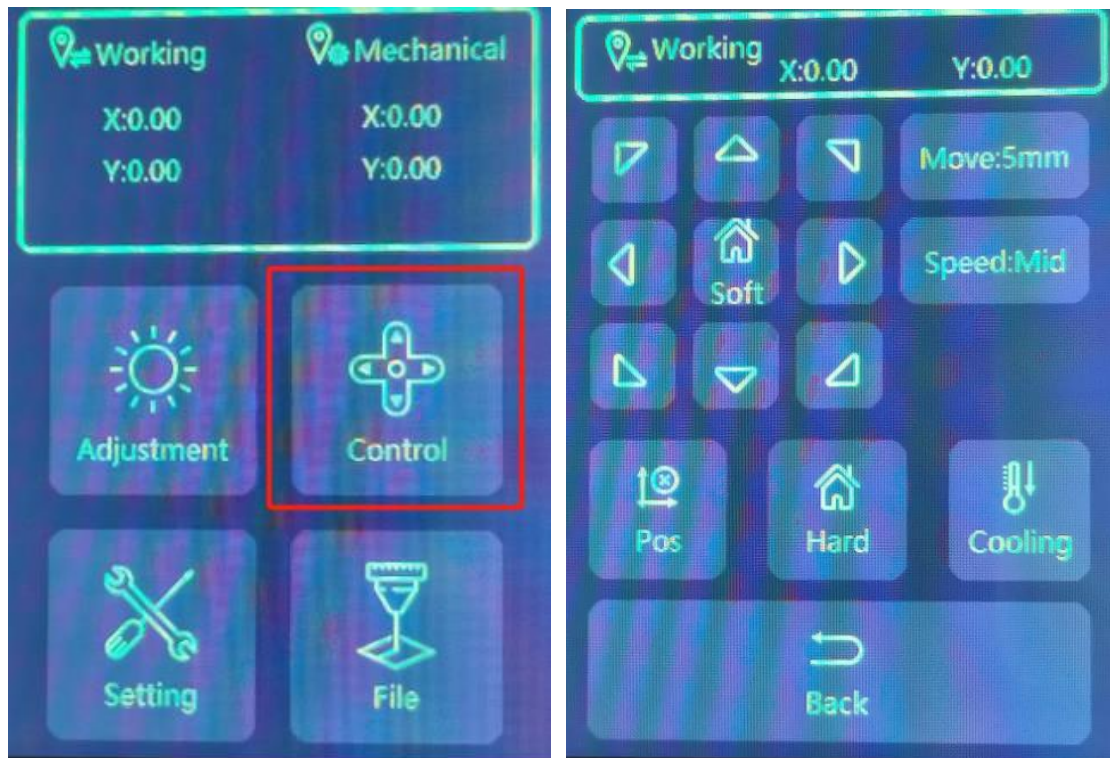
Working:ソフトウェアの原点、この原点は、レーザーヘッドの位置がどこにあっても、ユーザーが手動で設定した原点であり、原点を手動で設定した後、作業原点は(X0、Y0)にリセットされ、その

後、彫刻はレーザーヘッドの位置を原点として彫刻を開始します。

Mechanical: デバイスがハードウェア リセットを実行した後に (X0, Y0) にリセットされるハードウェア原点は、ソフトウェアの原点の影響を受けず、デバイス フレーム内のレーザー ヘッドの現在の位置を示します。



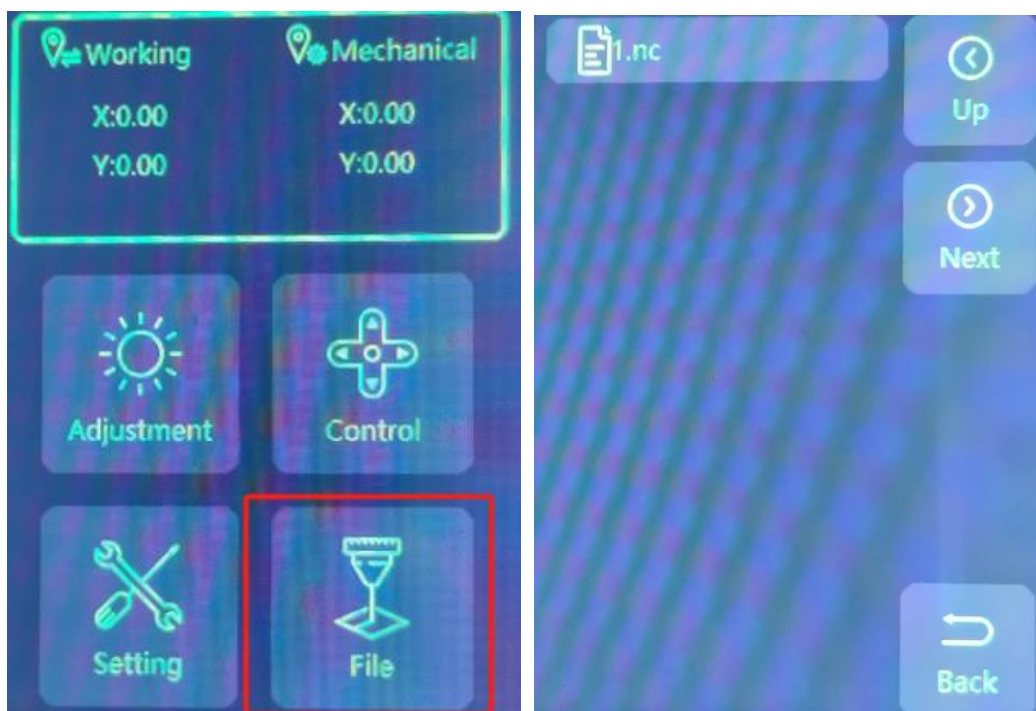
Adjustment : 上図に示す出力値でレーザーを点灯させることができ、低電力でレーザーの位置を観察することができます。



Control : デバイスの動き、リセット、位置決めなどを制御します。

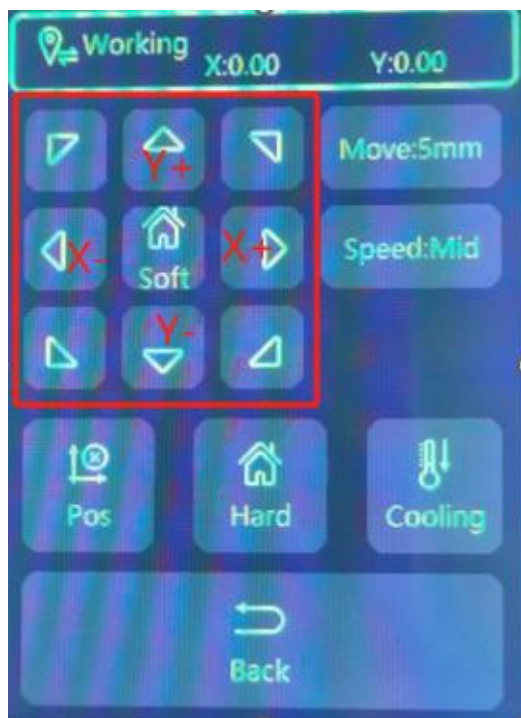


Setting : 設定インターフェース、タッチスクリーンのさまざまな設定。

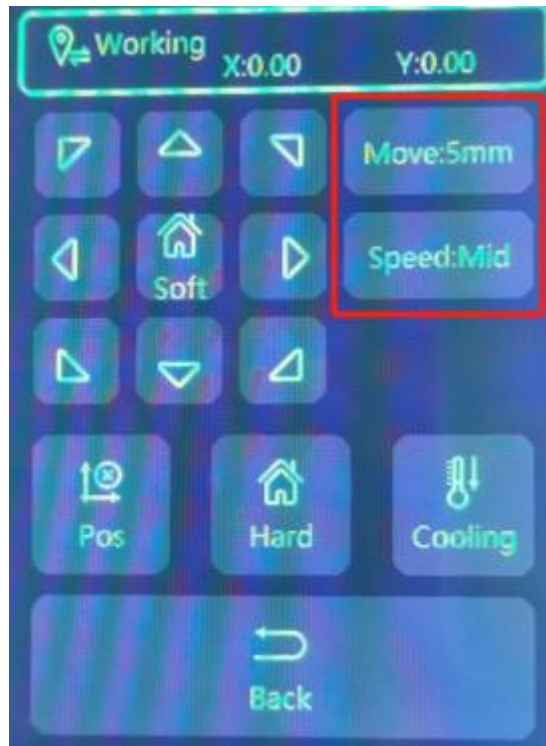


File : TF カードファイル、TF カードが挿入されていない場合は、
インターフェイスを表示するために TF カードをデバイスに挿入す
る必要があります:ErrorCode60。

2.Control 制御インターフェースの紹介 :



矢印キーとソフトウェアリセットボタンを移動:その移動方向は示されている図に対応し、中央のソフトはソフトウェアリセットボタンであり、ユーザーが手動で原点を設定した後、ボタンをクリックしてユーザーが設定した原点に戻ることができます。

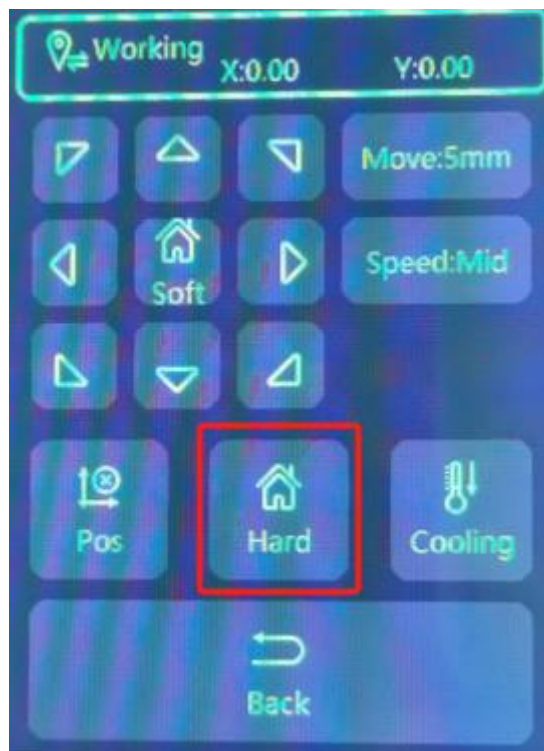


Move : 矢印キーをクリックした後に移動する距離を設定します

Speed : 矢印キーをクリックした後、移動速度を設定し、3つの調整可能なレベルがあります



Pos : Pos ボタンをクリックすると、現在のレーザーヘッドの位置が作業原点（Working）として設定され、上記の作業原点座標が 0 にリセットされます。



Hard :ハードウェアリセットボタンは、ボタンをクリックした後、レーザーヘッドは機械的な原点（Mechanical）に移動し、機械的な原点は(X0、Y0)であり、作業原点（Working）も同時に 0 にリセットされます、つまり、ユーザーが手動で設定した元の位置はリセット後に失われるため、特別な注意が必要です。

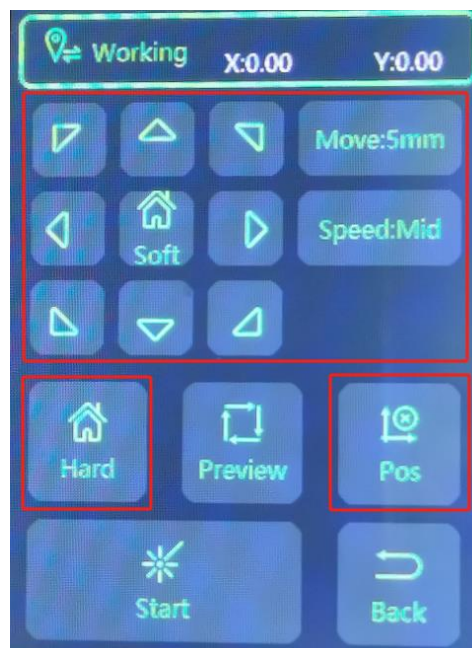


Cooling : 放熱ボタンは、デバイスを開いた後、デバイスの外部冷却システムをアクティブにします(A1 などの一部のデバイスモデルには外部冷却システムがないため、この機能は無効です)。

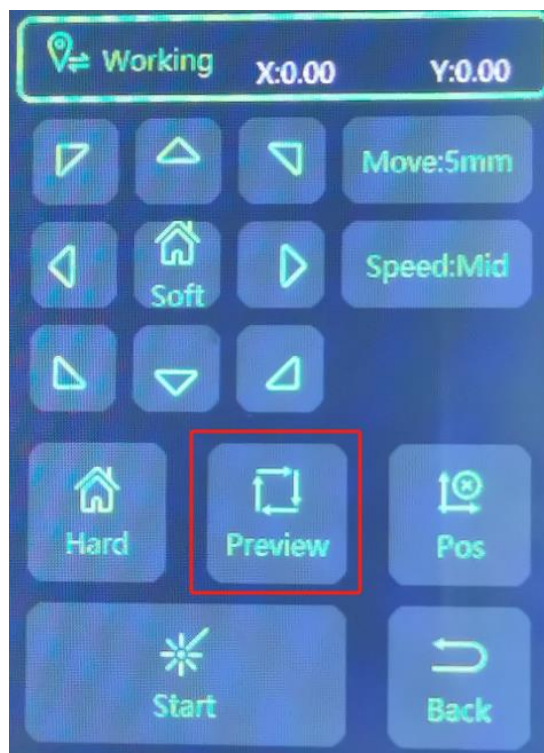
3.File 設定ページについての説明



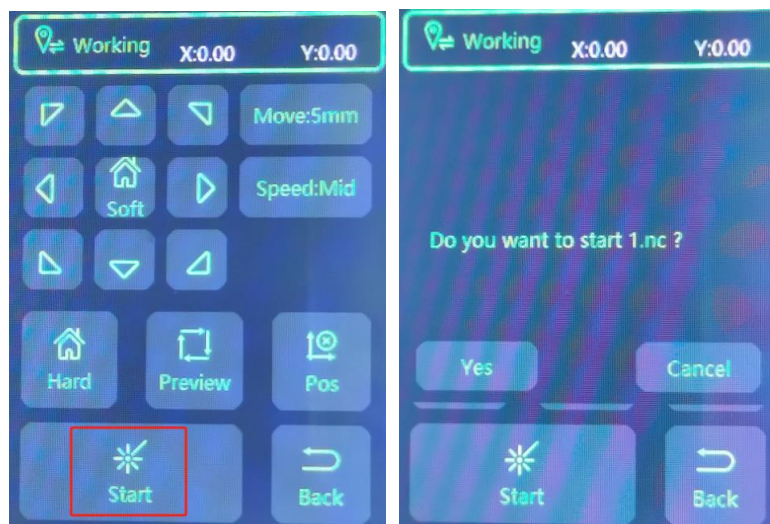
刻印されたファイルを含む TF カードを挿入し、クリックしてファイルページに入ると、TF カード内のファイルが表示され、ファイルをクリックして設定画面に入ります。TF カードに複数の彫刻ファイルがあり、現在のページが完全に表示されない場合は、右側の [Up] と [Next] をクリックしてページをめくることができます。



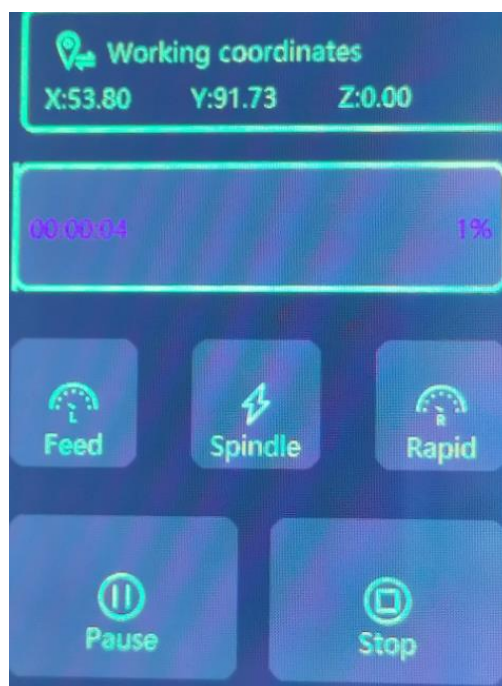
ファイル設定画面の [方向] [Move] [Speed] [Hard] [Pos] ボタンの機能は、上記の [Control] 画面と同じです。



Preview :ユーザーがファイルの作業原点を決定したら、[Preview] をクリックして彫刻されたエッジをプレビューし、形式が間違っていないか、目的の彫刻位置にあるかどうかを確認する必要があります。



完成した彫刻ファイルの場所を確認したら、下の[Start]をクリックして彫刻を開始し、[Yes]をクリックして彫刻の開始を確認できます。



彫刻の進行中のインターフェースは上の画像に示されており、中央のボタンは左から右に [Feed]、[Spindle]、および [Rapid] です。

[Feed] : 調整比率に応じて彫刻の速度を調整します(XY 移動速度とレーザー出力の両方を調整します)

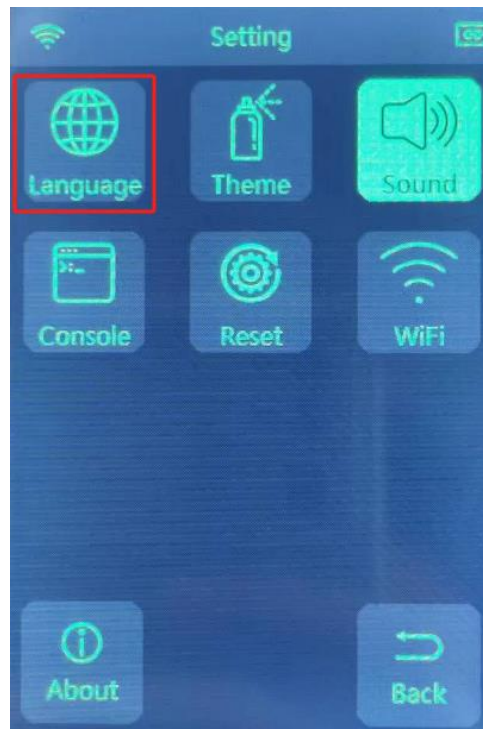
[Spindle] : XY 軸の移動速度を調整します

[Rapid] : 彫刻のレーザーパワーを調整します。 通常、ファイル内のパラメータを設定した後、ユーザーは彫刻プロセス中にパラメータを調整する必要はありません

Pause : 彫刻を一時停止し、もう一度クリックすると再開します

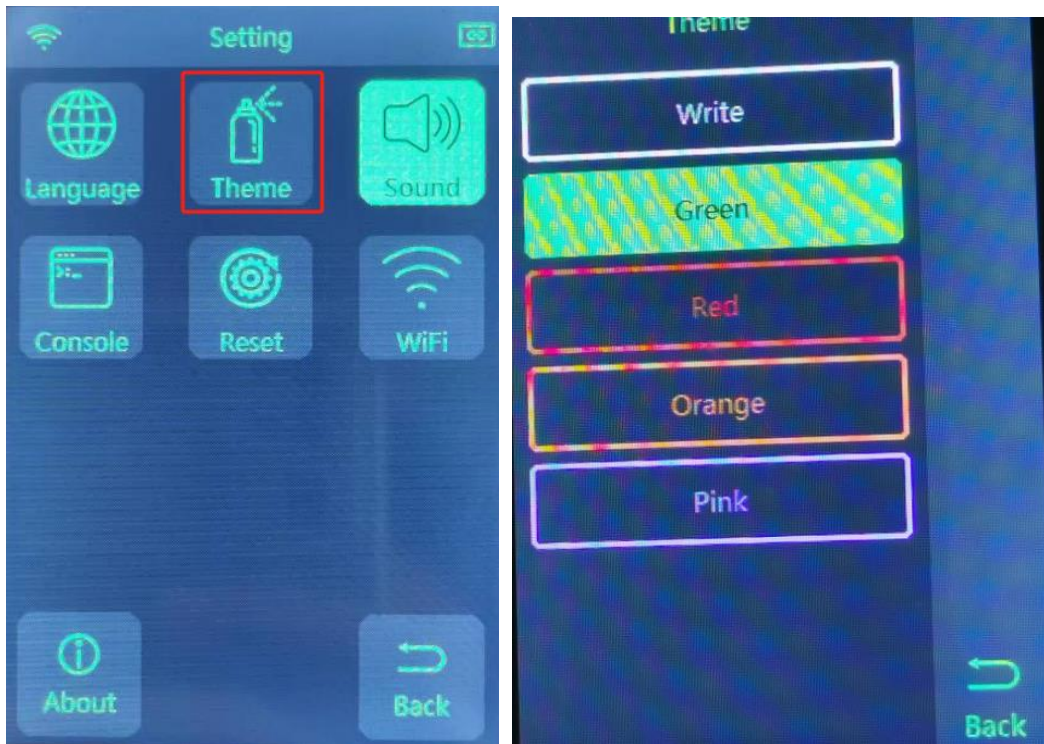
Stop : 彫刻を停止します

3.Setting 画面の設定

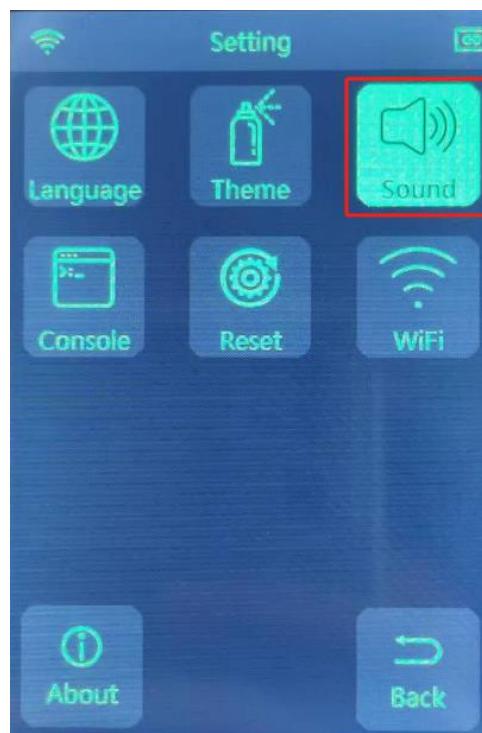


Language : タッチスクリーンの言語設定(現在は英語と中国語で

のみ利用可能)。

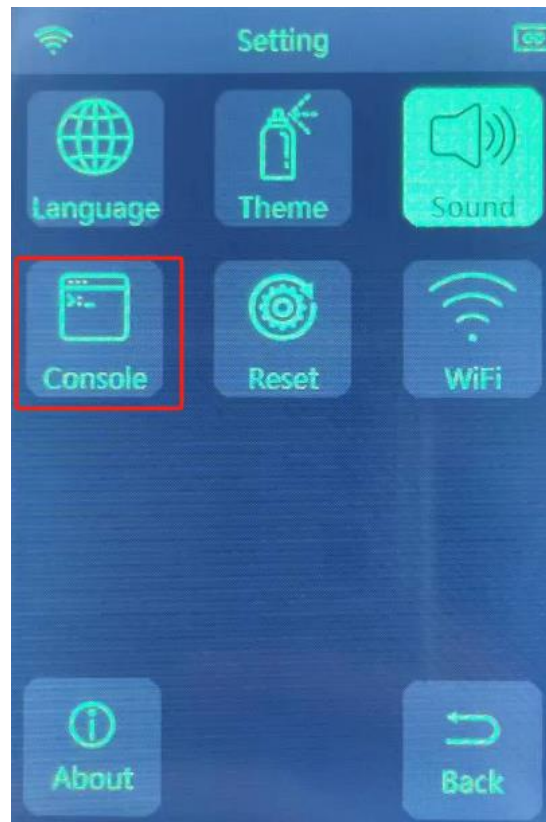


Theme :画面のテーマ設定では、お気に入りの画面のテーマの色を選択できます。

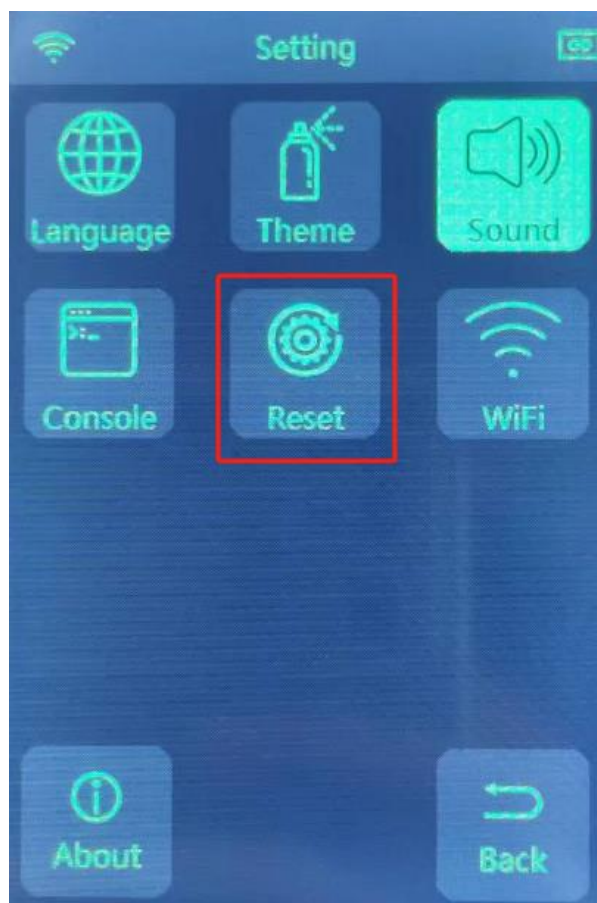


Sound :プロンプト音の設定では、デバイスをクリックしたときに

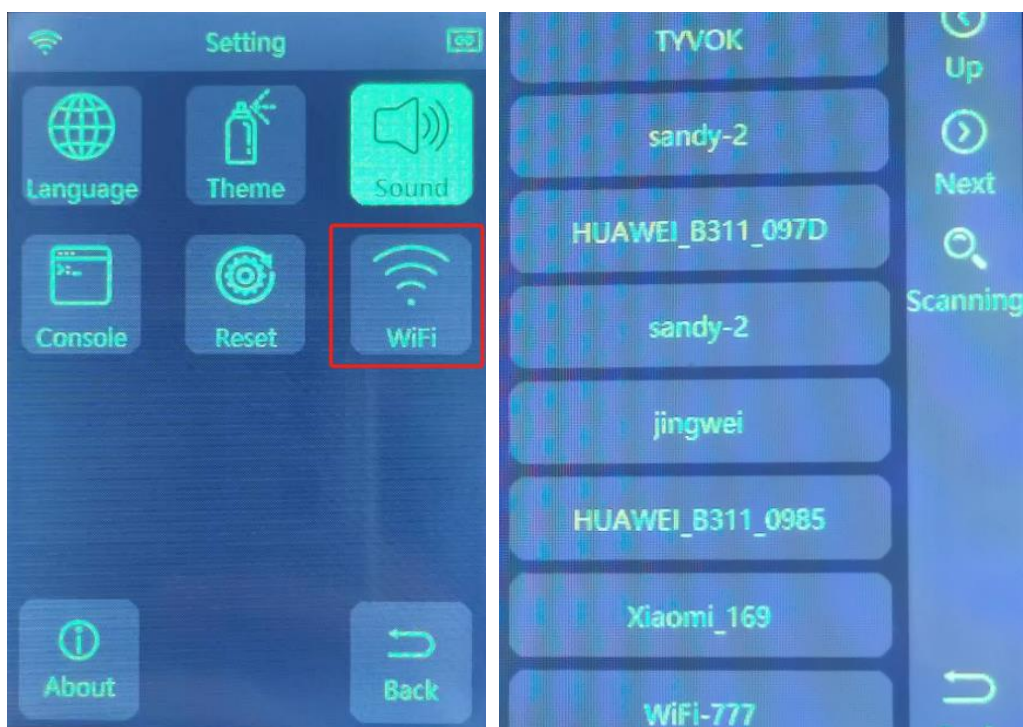
プロンプト音をオフまたはオンにすることができます(一部のモデルでプロンプト音がない場合、この機能は無効です)。



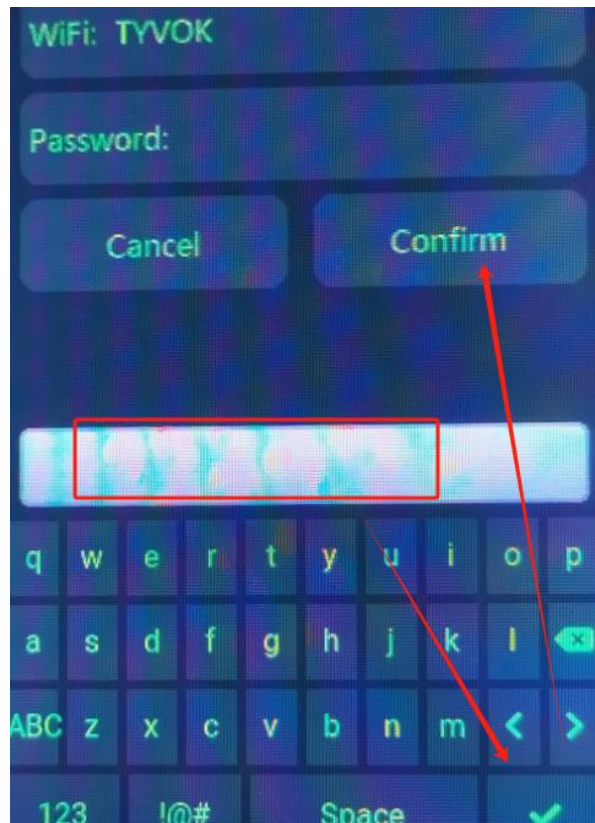
Console : コマンドデバッグ設定は、開発中に画面ファームウェアのデバッグをコマンドで行うもので、一般のユーザーがこの機能を使用する必要はありません。



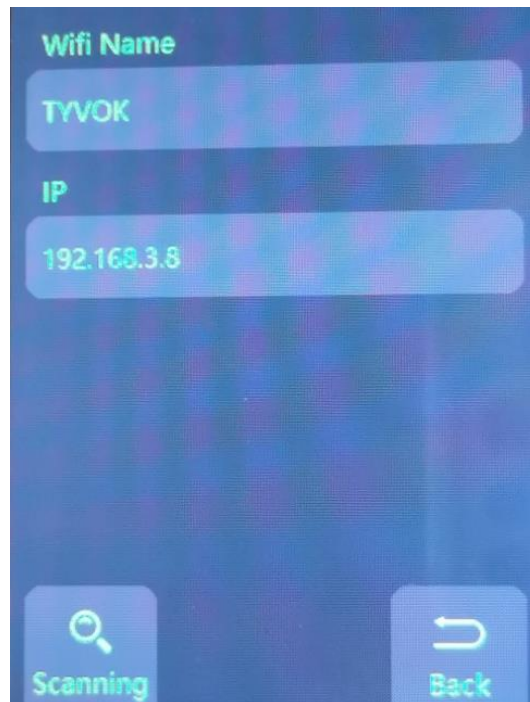
Reset : 工場出荷時の状態にリセットした後、デバイスをタップして再起動すると、デバイスは工場出荷時の状態にリセットされ、Wi-Fi を再接続する必要があります。



Wi-Fi : Wi-Fi[設定]をクリックし、クリックして入力し、アクセサリを 2.4G 帯域の Wi-Fi に自動的にスキャンします。 右側の [Up]と[Next]をクリックしてページをめくり、[Scanning] をクリックして Wi-Fi リストを再スキャンして更新します。



接続する Wi-Fi を選択したら、下のキーパッドにパスワードを入力すると、中央の白い入力ボックスに現在入力しているパスワードが表示され、入力が正しいことを確認し、右下隅の「✓」をクリックし、上部の「Confirm」をクリックして Wi-Fi に接続します。



接続が成功したら、デバイスが Wi-Fi 範囲内にある限り、電源を入れたときに自動的に Wi-Fi に接続でき、再度接続する必要はありません。IP アドレスは、使用されるアドレスを制御するために使用され、Web やさまざまなソフトウェアで使用できます。

他の WiFi に接続する必要がある場合は、下の「Scanning」をクリックして接続を再度スキャンしてください。